

事業報告書

学校法人 日本菓子学園

I. 具体的な企画実施

(1) 入学案内（学校案内）

世界的な環境問題に関心が向かう中、紙資源削減や経費削減の観点から、パンフレットの冊数を必要最小限に絞り込み、配布校につきましてもマーケティングに基づき効率的な広報活動を行って参りました。

また、原材料価格の上昇により、製作費、郵送費等の値上がりが相次いでおります。特に郵送費は顕著な値上がりが続けております。数種のパンフレットを用意し用途に応じた配布等により、一層無駄のない広報活動を心掛けて参りたいと考えております。

(2) 学校訪問

入学者・非入学者分析を基に実績のある高校への訪問や会場説明会等に合わせた隣接高校への訪問を積極的に実施しております。

通学圏内である1都3県の高校及び指定校日本語学校の訪問を強化、さらには、毎年入学者が在籍する指定校を定期的に訪問し、在校生ポスターやOCポスター等を持参し認知度強化に努めて参ります。

(3) 学校説明会（ガイダンス）

限られた予算の中、実績を上げている業者主催の学校説明会・会場説明会に予算配分を厚くし、さらに強化して参ります。

(4) IT 関係

今年度も、昨年に引き続きSEO対策及びリスティング広告等web関係での露出を増やし、学校HPへの流入を増やす取り組みも継続して実施いたしました。HPリニューアルの効果も出ているので、継続してHPを見やすく分かりやすいページに更新して参りたいと考えております。

(5) 教師派遣授業

「製菓製パン実習」は、着実に学生募集及び認知拡大に繋がっており、今後も、新規校・リピーター校を増やし学生募集活動及び製菓製パン分野の普及に活用して参りたいと考えております。

また、8月、2月に開催予定の教諭対象講習会を活用し、参加された教諭に告知活動を実施し認知拡大を継続して参ります。

(6) 留学生対策

- ・日本語学校へ訪問し、本校との関係を強化し、希望留学生の紹介およびOC参加等を勧めていただく。
- ・ビザや入国相談等留学生特有の問題にも事務所全員で対応できるようにする。

II 各局計画

教育局

厳しい社会情勢の中、2025年度も更に良い学生を育てられるように、授業内容の見直し、教育局業務の分析と合理的な作成を基に授業の充実を進める。
教育局職員、各自それぞれが今まで以上に目的意識を持ち、知恵を出し合い、一致協力し、教育局の行動が学校パワーの源として機能的に進むように進めたい。

(1) 機能的な授業の確立

- a. 指導要綱、時代に即した教育方針の内容を見直し、フレキシブルなより魅力ある授業作りの完成。

- b. 学生指導(挨拶、出欠、衛生管理)の徹底、全学生に統一指導する。
 - c. 試験問題作りの確立。(毎年度、同水準の技術力、知識の維持をする。)
 - d. 本校職員の対外的評価、技術の高水準の継続維持。
 - e. 留学生増加に伴う学校受け入れシステムの確立。
- (2) 職員個人の能力向上の環境整備
- a. 若手職員の能力向上実現への環境整備。(講習会、勉強会等への参加)
 - b. 女性幹部の育成。
 - c. 職員個々の技術向上を目指す。(技術資格取得：技能士、選和菓子職等、コンテストへの参加促進、講習会、研修会への参加。)
 - d. 職員個々の仕事への責任と自信への保持。
- (3) 教育局職員の日常モラル(挨拶、服装、協調性等)の向上、服務規程の遵守、励行。
- (4) 各局間の話し合いによる業務の連携と合理化の推進。

1. 教育部

(1) 学生指導

教育方針(学生手帳)

- ①基礎知識、基礎技術の習得に努める。
- ②製菓衛生師、製パン製造技能士、菓子製造技能士の資格取得に備え、実力強化に努める。
- ③衛生思想の徹底と実践に努める。
- ④プロとしての自覚と行動力、かつ時代に対応でき実践に役立つ業界人を育てる。

(2) 学年基本方針

- ①人材の育成と挨拶、活力ある学校作りに努める。
- ②安全安心及び食品衛生の徹底に努める。
- ③施設、備品の整備を行い、指導内容の向上を図る。
- ④年度毎に授業内容の反省と企画を行い、一層の充実に努める。

(3) 製菓技術学科 第1学年授業基本方針

- ①菓子業界人、社会人としての必要な礼儀、一般教養、常識を身につける。
- ②製菓衛生師免許取得のための学習をすすめる。
- ③和洋菓子、製パンの基礎知識、基礎技術習得のための学習をすすめる。
- ④菓子業界の現状を認識し、就業の楽しみを理解させる。
- ⑤掃除の重要性を認識させる。
- ⑥班での共同作業の大切さを認識させる。

(4) 製菓技術学科 第2学年授業基本方針

- ①基礎知識、基礎技術を踏まえて応用技術を身につけるカリキュラムをすすめる。
- ②外部講師による時代に合った製品作りを学び、高度な製菓技術を習得する。
- ③製菓衛生師免許取得のための学習をすすめる。
- ④菓子製造技能士資格修得のための学習をすすめる。
- ⑤菓子業界の時代に対応できる経営学、販売学を学ぶ。
- ⑥就職にあたり社会人としての人間形成を図る。
- ⑦就職率の高水準を維持する。

(5) 製パン技術学科 授業基本方針

- ①「ブルーランジェ・パティスリー」の育成。

- ②製パンの基礎知識、基礎技術から応用技術を身につける。
- ③和洋製菓の基礎知識、基礎技術の習得に努める。
- ④製パン製造技能士資格修得のための学習をすすめる。
- ⑤製パン業界人、社会人として、必要な礼儀、一般教養、常識を身につける。
- ⑥製パン業界の時代に対応できる経営学、販売学を学ぶ。
- ⑦就職率の高水準を維持する。

(6) パティシエ技術学科 授業基本方針

- ①1年間で洋菓子に特化した実践的な実習を中心に基本技術を繰り返し習得する。
- ②洋菓子の基礎知識・技術から応用技術を習得し、製品の自由な発想を引き出す。
- ③喫茶（珈琲、紅茶）ではより実践的な知識を学ぶ。
- ④掃除の重要性を認識させる。
- ⑤班での共同作業の大切さを認識させる。
- ⑥洋菓子業界の時代に対応できる経営学、販売学を学ぶ。
- ⑦就職率の高水準を維持する。

(7) ハイテクニカル学科 授業基本方針

- ①ハイテクニカルな技術を学び、新しいセンスを磨きこれからの時代をリードするプロフェッショナルを育成する。
- ②ひとテーブル2名の少人数制実習。
- ③工芸菓子等の細工技法や表現方法などの高度な技術習得を目指す。
- ④各種コンテストへの参加を目指す。
- ⑤欧州の伝統菓子、様々なスタイルの菓子作りを学ぶ。
- ⑥菓子製造技能検定2級取得を目指す。
- ⑦外部講師による時代に合った製品作りを学び高度な技術を習得する。

(8) 健康安全及び食品衛生の強化に努める。

(9) 施設備品を整備し、指導内容の向上を図る。

(10) 授業体制及び授業内容を見直し、より一層の充実に努める。
玉川高島屋とのコラボで和・洋・パンの販売ができる実習・販売学をすすめる。

(11) 進路指導(就職斡旋)

学生にとって継続的な良い就職結果を得るように常に前年度総合結果を検討し対処する。

2. 通信教育部

(1) 2027年度生より学費値上げに向けて準備を進める。

(2) 製菓衛生師コースおよび製菓製パン基礎コースの受講生確保と、勉強会の充実に継続努力する。

事務局

1. 広報課

(1) 本年度は、1名退職となったため、2名体制で運営して参りました。各科の定員確保のために広報課学生募集活動を継続して参ります。
具体的には、(2)以下の活動を予定しております。

(2) 学生募集のためには、全職員一致の協力が必要であり、事務局、教育局総力を挙げ取り組む。すべての教職員が学生募集業務に主体的に取り組んでいくために

事務局は教育局と常に話し合い確認をして、よりベストなオープンキャンパスや個別面談、教師派遣授業、学校説明会等 PR 活動を実施する。

- (3) 昨年のオープンキャンパス結果を教育局合同で見直し、変化の激しい時代に対応したオープンキャンパスを実施していく。具体的には、アンケート結果等を基に、在学生のオープンキャンパススタッフを継続的に採用し、学校に親近感を持ってもらえるような施策を推し進める。日程や製品内容等今の高校生の求めるオープンキャンパスに絶えず刷新していく。

特に、オープンキャンパス終了後の個別面談の結果は、入学者数にも反映されており、今後も教育部と意思疎通して強化して参りたい。

- (4) オープンキャンパスやガイダンス等で接触した高校生へのフォロー・アフターケアを体系的に行う。SNSやLINE、インスタを活用し、参加高校生個人とのつながりを強化する。
- (5) 近年、オープンキャンパス参加高校生の保護者の参加が増加している。保護者会に力を入れ、より内容の濃い学校案内を行い、本校選択のメリットをアピールし、保護者が納得してもらう学校説明を行って参ります。

2. 学生課

- (1) 留学生の対応。留学生対策を教育局と協力し、留学生会の充実を図り、トラブル回避に努める。
資格外活動の精査、長期休暇の活動確認をしながら、本校中国・韓国籍の教師に学校規則の翻訳を頼み、ガイダンスにニュアンスの違いによるトラブルを回避しています。また、中、台、韓、英 洋菓子・和菓子・製パン対訳本を合本とし、授業の遅れが出ないように対応しております。
- (2) 学生授業料納金に関して、事務部の中で迅速なる対応を進め、教育局に定期的に報告する。
奨学金の月毎の分納者、納入期を提出してもらい、滞納者を個々に呼び出して対応しております。
- (3) 高等教育無償化制度の継続的な運用に向けて円滑な業務運営に努める。

3. 総務課

- (1) 財政の健全化を保つための予算適正運用、経費節減、省エネルギーに努める。
特に物価高によりあらゆる物品が値上がりしており、経費削減の重要性は増しております。適切な管理の基、効率的な支出を心掛けて参りたいと考えております。
- (2) 広報課企画の学生募集活動への協力をする。特に高校訪問への協力は、少ない人数で多くの高校を訪問するために不可欠である。
- (3) 時代に沿った雇用・賃金制度と評価制度を実施。
社会全体が賃上げに向かう中、人材確保やモチベーション維持、教職員の生活維持等を考慮し、予算に占める人件費割合とのバランスを取りながら適切な賃金水準を導いていく。
- (4) 学校法人としての品格を持ち、行政への届出など業務の遂行を徹底する。
- (5) 学校内のインフラ整備を予算の範囲内での充実に努める。
各種補助金を活用し施設設備の更新を計画的に実施する。

- (6) AIG 任意労災保険等に入っており、全体ミーティングにて保険担当者から説明し周知を予定しております。